

新型コロナウイルス
感染症対策について



高瀬 重嗣 議員

質問…小中学校の暑さ対策と予防対策の必要について伺う。

答弁…授業時数不足を補うため、夏休みに計10日間の授業日を設ける。エアコンの有効活用、保冷剤の持参等の対策を講じる。エアコン未設置の大田原中では秋休み等に10日間の授業日を設定している。予防対策として、児童生徒の健康観察と日常の感染症対策の徹底を実施していく。

質問…マスクの着用と熱中症対策の兼ね合いについて伺う。

答弁…暑い時にはマスクを外すよう指導している。

質問…エアコンと換気との兼ね合いについて伺う。

答弁…1時間に10分程度の換気をする。電気代は気にしないよう予算を取った。

答弁…1つ置きに子供を座らせ間隔を取っている。また、6月中は増便を図っている。

質問…常に専門的、科学的な知見を参考に対策に当たるよう要望する。第2波到来時、教育委員会としてどのような方針をとるのか伺う。

答弁…学校の設置者が県と県の衛生主管部局と協議して、休校期間等を協議していく。

一般質問



中川 雅之 議員

新型コロナウイルス
感染症対策について

質問…全国の地方自治体をはじめ、医療福祉機関、企業、大学等、様々なところで基金を創設し、感染症拡大防止対策や、医療、介護従事者等への支援、医療体制の整備充実、経済対策、教育支援・環境整備等、様々な支援対策を目的に創設されております。本市においても、感染症対策、第2第3波にも備えた防止対策、支援を行う上におい

ても、新型コロナウイルス感染症対策支援基金制度の創設を行うべきであると思うが、市の取り組みについて伺います。

答弁…本市では、新型コロナウイルス感染症の予防、市民生活の支援及び地域経済対策に関する施策を迅速に推進するため、本定例会に大田原市新型コロナウイルス感染症対策基金条例を上程いたしました。この基金は、

市民の皆様や事業者の皆様方からの寄附金を積み立て、感染拡大防止対策、市民生活の支援対策及び地域経済対策に関する事業の財源に充当することを趣旨としております。現在、2業者、1個人から計400万円の寄附がございますが、基金条例制定後は、市ホームページやSNS等で広く寄附金募集の周知を図ってまいりたいと考えています。